

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(21年6月分)

1. 調査実施期間 平成21年 5月20日 ～6月10日

### 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

6月分の回答企業数は44社、回収率は91.7%である。

### 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		21/6月	7月	8月
仕入動向	国産材	△ 11.4	△ 16.2	△ 13.6
	外材	△ 14.3	△ 19.5	△ 15.0
販売動向	国産材	△ 17.1	△ 19.1	△ 19.7
	外材	△ 9.8	△ 16.3	△ 15.4
在庫動向	国産材	△ 20.6	△ 21.2	△ 12.5
	外材	△ 16.3	△ 19.2	△ 13.2

仕入は、国産材、外材ともやや大きなマイナス横ばいと低調。

販売も国産材、外材とも同様に大きなマイナス拡大気味で先行き一層厳しくなる様相。

在庫は国産材、外材ともマイナスをやや縮めるが、依然マイナス基調に変わらない。

仕入、販売、在庫とも先行き3ヶ月の荷動き動向が1～5月に続き全てマイナスと特段の弱さが引き続く。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	21/6月	7月	8月
スギ正角(グリーン)	△ 18.0	△ 12.0	△ 2.1
スギ正角(KD)	△ 13.5	△ 7.7	△ 4.0
ヒノキ正角	△ 5.8	△ 7.7	△ 4.0
ヒノキ土台角	△ 7.4	△ 5.6	△ 1.9
米ツガ正角(現地挽)	△ 10.4	△ 4.2	0.0
米ツガ防腐土台角	△ 8.0	0.0	△ 2.1
米ツガ割物(現地挽)	△ 8.0	△ 2.0	2.1
米マツ平角	△ 12.5	△ 4.2	△ 2.2
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 17.3	△ 5.8	0.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 8.0	0.0	2.1
レッドウッド集成平角	△ 4.8	2.4	2.4
型枠合板(国産)	△ 2.8	△ 2.8	△ 2.8
型枠合板(輸入)	△ 2.2	0.0	△ 2.3
針葉樹合板	△ 6.8	2.3	4.8

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台ともマイナスを縮めているが、一気の勢いなく依然弱含み。

米ツガ正角、割物はゼロからプラスと好調伺える。防腐土台角も概ね堅調な様子。

米マツ平角も同様に明るさ出てきている。

北洋材アカマツタルキは一気にゼロと回復著しい。

WW集成管柱、RW集成平角ともに先行きプラスで漸く回復本格化。

合板型枠は小さなマイナスと堅調気配が出、針葉樹合板はプラス推移で好調である。

1. 荷動き		コメント
仕入 動向	米マツ一般材丸太では、米国材輸出価格は公表していないものの5月積みは若干下げた様子。6月積みは据え置かれる公算が強いが弱含み。カナダ材もコスト材は下げで、オールドグロス材も現地在庫は少ないが弱含み。(東京:米材問屋)	米マツ一般材丸太 京浜マーケットでは、メーカーの製材量減少に歯止めがかからず、問屋在庫も動かない。回復の兆しは見られず、引き続き相場も弱含み。(東京:米材問屋)
	良材の仕入れが全く無く、仕入れ出来ていない。(東京:米材問屋)	徹底した当用買いで販売実績は月を追う毎に減っている。(東京:米材問屋)
販 売 動 向	少々増やすつもりで買う。例年だと6~7月は荷動き活発。今年是不透明。(東京:外材問屋)	底打ちだが、鍋底状態で先の見通しが立たない。(東京:外材問屋) 売れ行き不振。先行き明るさ見えず。(東京:外材問屋)
	6月に入って急に売れ行き不振。仕入れ意欲なし。(東京:外材問屋) 先月同様、各社仕入れ減。(東京:南洋・中国材問屋)	細かい受注は若干増えてきたが、依然として売価が上がらない。(東京:南洋材問屋)
販 売 動 向	産地価格は他国からの買い付け量が増加傾向にある上、自国通貨高(対ドル)で若干の強含み。(東京:南洋・中国材問屋)	バンドルの荷動きは悪く、注文材も細かく急ぎの仕事が多い。(東京:南洋材問屋)
	一時期の荷動き続かずまだら模様。(東京:国産材問屋) 当用買いに近くなりつつある。(東京:国産材問屋)	小口化、伝票枚数は増加、仲間内販売増加。(東京:南洋材問屋)
販 売 動 向	柱角材役物関係は需要が無いので仕入れを控えている。(東京:国産材問屋)	細かい改修などの仕事はあるが、使用等級は全て上小節材。(東京:国産材問屋)
	全体に各地からの入荷材減少。(東海:国産材問屋)	4~5月の販売不振を引きずる可能性高い。(東京:国産材問屋) 見積り多いが成約少なく絶対量減少。(東京:国産材問屋)
販 売 動 向	在庫が少なく所々でたまたま荷動きがあり結果的に仕入れが増加した。馴染みの製材工場がどんどん廃業減少しており、安定供給を心配しなければならなくなるのでは。(東京:仲買小売)	着工数の低迷が深刻な影響を与えている。販売不振で売り上げ確保に必死。(東京:国産材問屋)
	動向調査ではなく、むしろ不動向調査を記入しているような感じ。毎日店はOPENするがそれだけの事。(東京:仲買小売)	特1の注文が増え、役物を安くして対応。(東京:国産材問屋)
販 売 動 向	特殊物件用の原材料仕入れ一段落。梅雨の今は伐採時期悪く当面見送り、今後は品不足も考えられ、不測の事態に備え原材料の補充をする考えである。(東海:仲買小売)	連休明けに期待もあつたがはずれ。しかし単価は低価で旧盆明けに期待。(東京:国産材問屋)
	米マツ一般材丸太 5月京浜港へは約10,000m3の大量入荷があつたことから、問屋の大幅な在庫積み増しは避けられない。(東京:米材問屋)	依然荷動きは悪いが、6月に入り多少動きが出て来た。しかし長続きするか不透明。価格下げ止りだと思ふ。(東海:外材問屋)
在 庫 動 向	安い物安い物と、本来の高級材が他の安い樹種との競争を迫られていて、在庫は漸減している。(東京:米材問屋)	連休明け荷動き悪く売れ筋の物が見当たらない。(東海:国産材問屋) 動き出す気配がない。(東海:外材問屋)
	底値圏とわかっていてもこの売れ行きでは在庫積む意欲なし。(東京:外材問屋)	5月中頃からたまたま新築リフォームが重なり荷動きが良かった。(東京:仲買小売)
在 庫 動 向	産地価格の上昇分を売価に転化できないために最小限の入荷にて在庫は少ないまま。(東京:南洋・中国材問屋)	5月迄は昨年比かなり悪い。後半も良くなる要素見当たらず期待薄。いよいよ厳しさを増し淘汰が進みそう。(東京:仲買小売)
	入荷が少なく、在庫も減少している。(東京:南洋・中国材問屋) 現状 在庫持てず、時期(梅雨)も影響。(東京:国産材問屋)	この1年間で取引客数もかなり減少した。廃業、転業がその原因。(東京:仲買小売)
在 庫 動 向	時期が悪いので極力必要外は買っていない。(東京:国産材問屋)	連休以降新規の仕事が少なく、単価も厳しいものになってきた。(東京:仲買小売)
	販売・仕入れがほぼ同程度。結果動きはあつたが在庫量は全く変動無し。(東京:国産材問屋)	荷動きは現状は好調だが相変わらず先行き不透明。(東海:仲買小売)
在 庫 動 向	WW、物によって品切れあり。そのため少し値戻しがありそう。(大阪:仲買小売)	5月は4月より悪化。戸建分譲が全く動かず40年間の経験で2年連続前年同月比ダウンは初めて。(大阪:仲買小売)
	WW、物によって品切れあり。そのため少し値戻しがありそう。(大阪:仲買小売)	
2. 価格動向		
スギ正角	見積りは多いものの動き悪し。(東京:問屋)	構造材不振続く。(東京:問屋)
	KD材は多少動くがG材は動かない。(東京:問屋)	柱用丸太の品薄目立つ。(東京:問屋)
スギ正角	物は動かないのに価格だけが底辺で上下している。(東京:仲買小売)	
	常時買う品物よりスポットで買う品物の方が安く、良材。(大阪:仲買小売)	
ヒノキ正角	ヒノキ土台材が不足気味なのが気になる。(東海:仲買小売)	KD、プレーナーが増加。(東京:問屋)
	物が動かず、価格も動かず。(東京:仲買小売)	需要減。(東京:問屋)
土台角	ヒノキはじめ、米ツガ、米マツとも荷動き悪いが価格面では目立った動きは無い。(東海:外材問屋)	
米ツガ	今の所価格の変動は無い。(東京:米材問屋)	
米マツ平角	これ以上下がる気配はないが、それでも不安。(東京:問屋)	
北洋アカマツ タルキ	国内挽き工場の廃業話が多くなった。(東京:仲買小売)	
	m3当り1,000~2,000円値下げか?(大阪:仲買小売)	
WW・RW 集成材	集成平角は安すぎるが、それでも販売・仕入れ活気なし。(東京:問屋)	需要が出れば上がる。(東京:問屋)
	WW、仕事自体が少ないので単価は現状維持が精一杯。(東京:問屋)	
合板	10.5角入荷単価 5~6月1,350円/本前後。7月から1,400~1,450円/本。5~6月B/Lで52,000~53,000円/m3。(東海:外材問屋)	
	価格下げ止まり。(東海:外材問屋)	単価安定せず、困る。(東京:仲買小売)
合板	売れ行き不振で減産続行中。全て需要次第。減産で価格維持。(東京:仲買小売)	
	売れ行き不振で減産続行中。全て需要次第。減産で価格維持。(東京:仲買小売)	